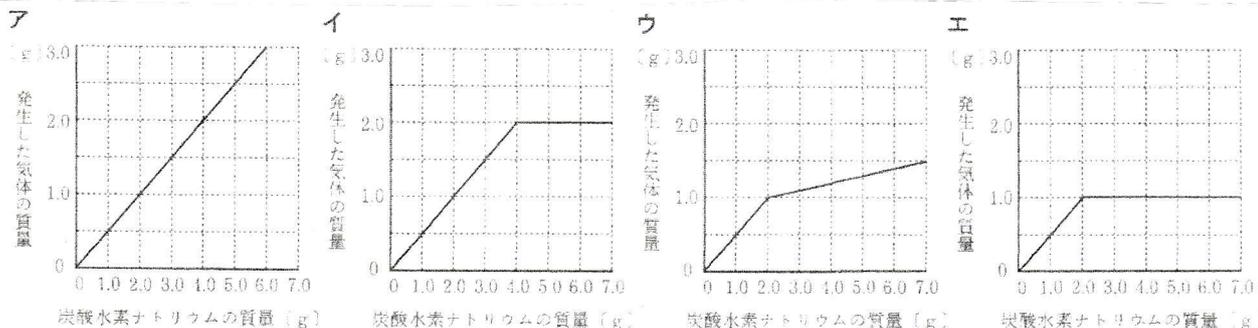


(2) この実験において、炭酸水素ナトリウムの質量と発生した気体の質量の関係を表したグラフとして適切なものを、次のア～エから1つ選んでその符号を書きなさい。



(イ) 表1より、反応前後での質量の差 (a) - (b) が、発生した気体の質量になる。

炭酸水素ナトリウムの質量 (g)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0
(a) で はかた 質量 (g)	202.2	203.2	204.2	205.2	206.2	207.2
(b) で はかた 質量 (g)	201.7	202.2	202.7	203.2	204.2	205.2
生じた気体の質量 (a) - (b) (g)	0.5	1.0	1.5	2.0	2.0	2.0

ここから一定に
なってる。

ちなみに、発生した気体とは、
二酸化炭素のことだね。

炭酸水素ナトリウム
の質量が 4.0g 以上
では生じた気体の
質量が増加して
いない

☆ 5%の塩酸35cm³と ←
過不足なく反応する
炭酸水素ナトリウムは

4.0 (g) であるとわかる。